

入選

小さなパトロール隊

山口県 深川小学校

6年 馬渡千尋

私には、近所にたくさんの知り合いがいます。知り合いといっても、遊んだりするわけでもなく、名前を知っているわけでもありません。顔見知りのおじいちゃん、おばあちゃんたちです。

私は1年生の秋に、今の家に引っこして来ました。2つ上のお姉ちゃんもいるし、学校も近いので「迷子になることはないねー。」とお母さんは言っていたけれど、1年生の私は、不安でいっぱいでした。

そんな私に、「行き帰りで会う人に、大きな声であいさつしてみるといいよ。」と、お父さんがアドバイスをくれました。

人見知りではなかったけれど、大きな声であいさつをするのには、最初は勇気が必要でしたが、毎日しているとだんだん顔も覚えてもらえるようになり、不安もなくなっていきました。

ある日、近所のおばあちゃんがごみぶくろを持って、足をひきずっているところをみかけました。

「手伝いますよ。」

私はすぐに声をかけることができ、ごみ捨てを手伝った私に、「ありがとうね、助かったよ。」と言ってくれたおばあちゃん。

帰ってすぐにお母さんに報告すると、

「いいことしたね。これからも、困っている人を見たら助けてあげるんだよ。」

とほめられました。それがとてもうれしかったことを、今でも覚えています。

今、私の学校では、『あいさつ+1』という活動が行われています。「おはようございます」や「こんにちは」だけではなく、そこにもうひとこと付け加えるという活動です。

「今日も暑いですね」と言うと、「今日も暑いけど頑張ってるね」と返ってきたり、「その野菜は何ですか?」と言うと「これはねえ...」とくわしく教えてくれたりと、今では、たくさん会話ができるようになりました。

私の近所には、お年寄りだけで住んでいる方がたくさんいらっしゃいます。あいさつをすることによって、「困ってそうだから、手伝ってあげよう」など、私が気づいて行動できることがあると知りました。

私は、近所のパトロール隊です！これからも、大きな声で元気にあいさつをして、地域の方を少しでも元気づけられる人になりたいと思います。